

日本経済新聞社が実施した2012年の「働きやすい会社」調査の総合ランキングで、前年4位だったパナソニックが首位に浮上した。上位20社のうち日立製作所や東芝を含む電機メーカーが7社を占めたほか、順位を上げた損害保険会社も目立つ。企業は労働時間の短縮などに加え、グローバル競争に備えて教育・研修や外国人採用を拡充している。

調査は10回目で、今回は日経HR、日経リサーチとの共同企画。回答した480社の人事・労務制度の内容と利用状況を点数化した。同時に実施したヒジネスパーソンの1711人のアンケートで

働きやすい会社ランキング

| 順位(昨年) | 社名 | 総合得点 |
|---------|-----------------|--------|
| 1(4) | パナソニック | 511.16 |
| 2(2) | 日立製作所 | 503.55 |
| 3(3) | 東芝 | 503.52 |
| 4(5) | ダイキン工業 | 502.86 |
| 5(1) | ソニー | 500.06 |
| 6(13) | 第一生命保険 | 490.51 |
| 7(6) | 富士フイルム | 488.08 |
| 8(7) | キヤノン | 483.83 |
| 9(50) | イオン | 481.78 |
| 10(10) | 損害保険ジャパン | 478.75 |
| 11(19) | NTT東日本 | 478.21 |
| 12(25) | シャープ | 475.30 |
| 13(11) | 凸版印刷 | 473.60 |
| 14(8) | 日本IBM | 469.34 |
| 15(24) | 三井住友海上火災保険 | 469.24 |
| 16(43) | 東京海上日動火災保険 | 469.07 |
| 17(20) | リコー | 467.25 |
| 18(114) | 信越化学工業 | 460.17 |
| 19(12) | 武田薬品工業 | 456.50 |
| 20(23) | 東レ | 455.82 |
| 21(31) | コニカミノルタホールディングス | 455.73 |
| 22(16) | 富士通 | 455.67 |
| 23(98) | SCSK | 451.46 |
| 24(18) | 三菱電機 | 450.73 |
| 25(15) | 三菱商事 | 449.70 |
| 26(53) | ネスレ日本 | 445.73 |
| 27(14) | NEC | 445.34 |
| 28(267) | NTTコミュニケーションズ | 444.31 |
| 29(26) | サントリーホールディングス | 443.65 |
| 30(22) | 帝人 | 442.91 |
| 31(30) | 三菱UFJ信託銀行 | 441.11 |
| 32(9) | 資生堂 | 440.82 |
| 33(33) | 日立ソリューションズ | 439.49 |
| 34(27) | 大日本印刷 | 439.31 |
| 35(35) | 花王 | 437.96 |
| 36(17) | 住友商事 | 437.34 |
| 37(28) | NTTデータ | 436.26 |
| 38(94) | ゆうちょ銀行 | 436.08 |
| 39(70) | デンソー | 435.67 |
| 40(40) | 住友化学 | 433.86 |
| 41(39) | 麒麟ビール | 433.16 |
| 42(108) | トッパン・フォームズ | 432.46 |
| 43(32) | あいおいニッセイ同和損害保険 | 432.22 |
| 44(303) | NTT | 431.72 |
| 45(155) | 日産自動車 | 431.70 |
| 46(51) | クラレ | 431.60 |
| 46(65) | TDK | 431.60 |
| 48(284) | マフチモーター | 431.13 |
| 49(21) | 積水化学工業 | 429.76 |
| 50(54) | 大和証券グループ本社 | 429.54 |

日立や東芝、上位に

重視されている項目に得点を傾斜配分し、総合ランキングと評価側面別ランキングを算出した。順位を大きく上げる企業は114位から18位に入れている。

前年50位業は114位から18位に入れている。

本社調査 公開基準 研修など拡充

20位以内の損保で前年順位を上回ったのが、三井住友海上火災保険と東京海上日動火災保険と東井住友は12年度から出産休暇や育児休業を取得する社員が自宅でもインターネットを使えるようにし、スムーズな職場復帰を促す。東京海上日動は短時間勤務をはじめ、多くの育児支援制度をそろえる。

評価側面別ランキングは①人材の採用・育成②多様な人材の活用③職場環境の整備④多様な働き関連も重視されている。

方への配慮——の4つを集計した。1位は①から順に凸版印刷、ソニー、イオン、資生堂だった。ヒジネスパーソンのアンケートは働きやすい会社の条件として重視する制度や取り組みを聞いた。「非常に重視する」との回答が最も多かったのは、「労働時間の適正さ」で43・48%。2位は「休暇の取りやすさ」で42・26%、3位は「社員の勤続年数の長さ」で36・82%だった。

労働時間や休暇に関する項目のほか、「人事考課の結果伝達」「反論・修正機会の有無」(32・20%)や「人事考課の評価基準公開の有無」(25・77%)といった人事考課

許諾番号 XXXXXXXXXX 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2012年10月1日 日経産業新聞 1ページ

©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。

日本経済新聞社は、記事内容により、特定の企業・団体や商品・サービスの購入・投資等を推奨するものではありません。